

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成23年5月分)

ご協力ありがとうございました。平成23年5月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 166社 回答 152社 回答率 91.6%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	3社 2.0% (9.7)	23社 15.2% (17.5)	30社 19.9% (20.8)	43社 28.5% (27.3)	52社 34.4% (24.7)	151社	20社 13.7% (17.3)	21社 14.4% (14.0)	29社 19.9% (20.0)	34社 23.3% (20.7)	42社 28.8% (28.0)	146社
売上高	4社 2.6% (9.2)	23社 15.2% (15.7)	28社 18.5% (21.6)	46社 30.5% (28.8)	50社 33.1% (24.8)	151社	24社 16.4% (20.1)	21社 14.4% (16.1)	32社 21.9% (17.4)	30社 20.5% (20.8)	39社 26.7% (25.5)	146社
在庫数量	14社 9.7% (1.4)	34社 23.4% (19.7)	60社 41.4% (46.9)	27社 18.6% (21.1)	10社 6.9% (10.9)	145社	22社 15.8% (8.5)	25社 18.0% (16.2)	48社 34.5% (35.2)	22社 15.8% (25.4)	22社 15.8% (14.8)	139社
販売単価	0社 0.0% (1.3)	16社 11.0% (16.6)	95社 65.5% (73.5)	28社 19.3% (6.6)	6社 4.1% (2.0)	145社	3社 2.1% (9.9)	47社 33.6% (31.7)	63社 45.0% (44.4)	17社 12.1% (8.5)	10社 7.1% (5.6)	140社
収益状況 (粗利)	2社 1.3% (7.2)	12社 8.1% (13.2)	52社 34.9% (31.6)	50社 33.6% (26.3)	33社 22.1% (21.7)	149社	8社 5.7% (6.8)	19社 13.5% (19.0)	45社 31.9% (28.6)	36社 25.5% (21.1)	33社 23.4% (24.5)	141社
稼働率 (生産・加工設備)	1社 0.9% (4.0)	16社 13.7% (12.9)	38社 32.5% (33.1)	36社 30.8% (25.8)	26社 22.2% (24.2)	117社	8社 7.1% (8.5)	15社 13.4% (11.9)	35社 31.3% (28.8)	25社 22.3% (22.9)	29社 25.9% (28.0)	112社
入出庫の トラック台数	1社 0.7% (3.4)	15社 10.6% (10.9)	52社 36.9% (32.7)	44社 31.2% (32.0)	29社 20.6% (21.1)	141社	6社 4.4% (5.8)	29社 21.5% (14.4)	42社 31.1% (34.5)	31社 23.0% (23.7)	27社 20.0% (21.6)	135社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	0社 0.0% (0.0)	6社 4.4% (4.9)	39社 28.5% (31.7)	40社 29.2% (30.3)	52社 38.0% (33.1)		137社	2社 1.5% (0.0)	26社 19.4% (19.1)	57社 42.5% (50.0)	32社 23.9% (16.9)	
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(5月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 東鉄の値下げ発表や自動車関連の減産、中規模以上の建築物の着工見直し等、5月の震災復旧関係資材納入も、政府、行政の混乱からストップ状態と、新しい引合いが止まってしまった。仕事がない。インフラ関連の大手設計事務所は大忙しとの情報もあり、二次補正予算の成立を待って、多くの需要が出てくると思われる。秋以降まで得意先の体力が維持出来るか、政府系を含め金融の役割に期待したい。
- ② 4月中旬頃より引合いが減っており、GW明けも引続き悪い状態のまま。仮設絡みの仕事も、用地の確保や部品不足の問題等で話が進んでおらず、首都圏で動き始めた物件も確認できる範囲だけではあるが、中止や遅れが出ている。供給面においては、十分に材料の確保が可能だが、肝心の需要が思うようについていない。
- ③ 東日本大震災の被災取引先の復旧も徐々に進みつつあり、一部取引先では受注回復が早いところも出てきた。震災発生当初は大幅な受注減を想定していたが、少しずつ懸念は薄らぎつつある。ただし、早期復興のための二次補正予算成立は焦眉の課題であり、政治のごたごたを早く収束してもらいたいものである。
- ④ メーカー値上げで、上げ基調で推移していた市況が震災で上げ止まり、さらに東鉄の値下げで、市況は弱含み横這いに転じている。新単価の入荷もあり、流通としては、この膠着状態から早急に脱したいところだが、紐付価格の決着も不透明で、しばらく我慢が続く。現状の荷動き不振下で日を追うごとに与信の悪化が懸念される。
- ⑤ 震災の影響で値上げ後、一時的に相場は締まったが、現在は多少緩み気味で購入意欲が減少。価格に関しては、震災後横這いが続く中、安売りの声も出始めている。
- ⑥ 一部を除き需要が少なく、与信面の不安がある。相場は弱含みになっているが、先安が顕著で当用買いに徹する。

中板

- ① 価格はやや下落している。
- ② トラック、建機ユーザーの生産は回復。自動車産業は一部メーカーが足を引っ張っている。震災関連の案件を耳にしなくなってきた。
- ③ 5月の販売量は前月比大幅減少となる。実需が予想以上に低迷したのが大きな要因。東鉄の大幅値下げが市況下落を誘い、高値のコイルが入荷する中、採算割れの商売を余儀なくされている。高炉、電炉の原料コストの差が大きく、仕入れ面においても判断が難しく、苦慮しているのが現状。販売減から在庫は一転増加傾向となり、安値の商売も見受けられ、今後も数量、売上確保のため続くと予想される。今後も、スクラップ、輸入材の動向と国内需要に注視してゆく。

厚板

- ① 価格は横這い。
- ② 当月はもともと山積みが高い状況ではあったが、さらに地震の影響で高炉メーカーの4月ロールの材料手配が出来ず、当月の新規物件の入材がなかったため、大幅に減少した。来月も同様にまだ新規物件の成約はなく基調は変わらないが、月後半には土木の加工が始まるため、今月よりは増加すると思われる。価格的には、高炉メーカーの値上げはあるものの、昨今の低調な需給環境に加え、電炉メーカーの値下げもあり、混沌としている。

一般形鋼

- ① 例年第1四半期の荷動きは悪いが、その中でも5月は連休もあり悪い。しかし、今年是一段と荷動きが悪化して、上旬は無風状態であった。忙しいのは原発関連だけで、通常の仕事までが消えたようだったが、20日過ぎに持ち直ってきたようだ。来月後半から震災の復旧需要も出だすだろうし、その後半年後には復興需要も出てきて、現状は嵐の前の静けさと理解すべきか。震災後は客先が建築の見直しをしたりして、余震が収まったら建築を進めようとの声が出ている。

HI形鋼

- ① 現状、低調な引合い、荷動きが続いている。市況も若干下降気味だが、採算を考えれば現状価格を維持するしかない。
- ② 今年も去年と同じような状況になってきた。需要の減少、市況の下落等である。ただ、今回は去年ほどの原料価格の下げは考えづらく、復興需要も出てくるであろう。今は我慢のときである。

異形棒鋼

- ① 3月の地震後、荷は動き4月も続いたが、5月に入り反動で荷動きは25%悪くなった。東鉄が5円/kg下げて、関東メーカー、小売ともに少し下がった。しかし、高値の在庫分だけ赤字になった。商いは低調のまま、先行きがつかめないが、6月の東鉄発表の単価が指標になると思う。

平鋼

- ① 5月から6月初めは荷動きが悪かった。単価も若干下がり気味である。

鋼管

- ① 5月連休明けから、完全に荷動きが止まってしまった。出荷量、売上げともに前月比大幅ダウン。
- ② メーカー値上げを再販価格に十分転嫁できず、粗利益率低下の要因になっている。

構造用鋼

- ① 店売りに関しては、鉄鋼メーカーの値上げによる市況の変化がありそうだが、自動車、建機等大手に対しての交渉がどうなるかによっては、先行きに影響すると思われる。
- ② 需要環境は、自動車の減産の影響はあるものの建設機械、一般産機等は堅調な動きとなっている。各鉄鋼メーカーの店売り品の値上げに伴い、一般市況は先高感が徐々に高まっており、7月以降は上伸すると思われる。

その他

<曲げ加工>

- ① 先月よりやや増加したものの、依然として不況が続いている。重量物の加工等の減少により粗利益が伸び悩む。数量が細かく、まとまったものも今ひとつ。今後の景況については予測しにくく、しばらくの時間を要するものと思われる。

<鋼材一般>

- ① 価格競争が激しくなっている。(物件が少ないため)
- ② 少しずつ前向きな話が出てきているが、実際は不透明な部分が多く実情はつかめていない状態だ。

<金属表面処理加工>

- ① 5月は、紐付は予定通りとなるも、プラント、物件物を含め納期延期があり、前月比約10%の数量減となる。スポットは緊急材への対応で微増。紐付材は東北地方のユーザーが震災の影響でまだ新規発注を再開しておらず、引き続き減少で推移。5月中旬以降、先納期ではあるものの、引合いが活発なことから、物件の始動を期待するところである。